

## 第 3 回協議会における主な意見への対応

No.	主な意見	対応
1	・ P3 : E-BIKE の図について、バッテリーの位置を変えてほしい。	・ P3 の E-BIKE の図を差し替え
2	・ P3 : どのような人が使う自転車なのかを表現したほうが、多様な人や自転車を使うことが分かりやすい。	・ P3 の図を、利用者と利用場面で分類して表現した図に修正
3	・ P6 : Maas の説明に、観光 Maas の視点を加えるとよいのではないか。	・ P6 に、伊豆における観光型 MaaS 実証実験の概要を掲載
4	・ P6 : コペンハーゲンの事例に、子供の頃から自転車教育を実施している写真を入れてはどうか。	・ P6 に、デンマーク式自転車教育法の概要を掲載
5	・ P8 : 市町別に通勤・通学別自転車分担率を示す図を掲載したほうがよい。	・ P8 の図 3-8 に通勤・通学別の自転車分担率を追加
6	・ 市町版計画策定の推進のためにも、P8 に市町別の通勤・通学別自転車分担率を示したほうがよい。	
7	・ P9 : 放置自転車のグラフが減少傾向にあり少なく見える。他地域や目標との比較などで、依然として多い状況を示すほうが良い。	・ P9 表 3-4 に放置自転車の多い都道府県（人口 1 万人あたり）を追加
8	・ 事故件数は、全体の事故件数に対する比率で示したほうが分かりやすい。	・ P11 に、全事故件数に占める自転車事故件数の割合を示すグラフを掲載
9	・ P13 : 滞在時間や客単価など稼ぐ力に関するデータを入れたほうが良い。	・ P15 にトピックとして、しまなみ海道を利用する外国人サイクリストの滞在日数消費額を掲載
10	・ P15 : サイクルイベントに参加人数を入れたほうがイメージしやすい。また、カサイチ fan ライドも追加してもらいたい。	・ P14 の表 3-6 に、サイクルイベントの募集人数とカサイチ fan ライドを追加
11	・ P15 : 課題の中に、観光 Maas などにより付加価値の高いサービス提供の視点を入れ、消費を促すようにしたほうが良い。	・ P15 の文章を「拡大するインバウンドを含む観光誘客の体験ツール」という表現に修正
12	・ 観光に関して、インバウンドの視点（インバウンドの体験ツールとしての活用など）をどこかに入れたほうが良い。	
13	・ P18 : 目標の中にツーリズムによる地域経済活性化（地域の稼ぐ力）の視点を加えたほうが良い。	・ P19 の文章を「交流人口の拡大と地域経済の活性化により地域活力を向上させる。」という表現に修正
14	・ P20 : 事故件数の指標は、第一当事者が自転車だけでよいのか。	・ P21 の指標を「自転車関係人身事故件数」に変更
15	・ 第一当事者が自転車である事故件数は、	

	全体の傾向を反映する代表指標と考えられる。	
16	・少なくともNW計画を策定している16市町は推進計画も策定できると思う。	・P20, 26の指標を20市町に修正
17	・P23: 将来的に電動キックボードが自転車通行空間を使用する可能性がある。自動車の車線認識で自転車道が認識できるようになるなどの動向を注視しておく必要がある。	・P9にトピックとして電動キックボードの概要と神戸市における実証実験の概要を掲載
18	・電動キックボードについては参考資料に入れることも考えられる。	
19	・P24: 道路標示については、現状で自転車の通行方法に問題のある個所を見直していくイメージを掲載したほうが良い。(分かりにくい自転車道や中央線廃止で車線を拡張できる区間など)	・P25の取り組みイメージに、自転車横断帯の廃止イメージを掲載
20	・P26 他: 情報提供について、シェアサイクルなどの情報がグーグルマップで検索できるようなオープンデータ化の取り組みを入れられないか。	・P46に情報のオープンデータ化と活用事例を掲載
21	・P29: 無電柱化のイメージを入れるのであれば、自歩道化ではなく、生活道路のイメージのほうが良い。	・P31の取り組みのイメージを、生活道路における無電柱化による安全確保のイメージに修正
22	・現在の安全教育の取り組みの表は参考資料でないほうが良い。	・P32の「①交通安全教育の推進」の参考としてP33に掲載
23	・分離式信号の取組と自転車との関係が分かりにくい。	・歩車分離式信号の取り組みを削除
24	・P39: インバウンドの視点を入れたほうが良い。(ツアー造成、多言語対応、プロモーションなど)	・P43の施策11の説明を、「国内外から多様なサイクリストを受け入れるため」に修正
25	・P41: サイクリスト向けの宿泊施設は、県の認証制度などがあるとよい。	・P45の取り組みイメージにWAKAYAMA800の宿泊施設の認定制度の事例を掲載
26	・P41: 「実施する」「整備する」という表現だと県が実施することになる。宿泊施設に関しては、「需要に応じて協力を依頼する」、ガイドツアーに関しては、「人材育成や団体の設立支援」が県の役目ありと考えられる。	・P45の区分③の指標を「モデルルート直近のサイクリストが必要とする機能を有する宿泊施設1箇所以上あること」に修正 ・P45の区分④の取り組み内容を「サイクリングイベントやサイクリングガイドツアーの実施支援」に修正
27	・P42: インバウンド対応の視点を入れてほしい。	・P46に英語版サイクリングマップを掲載